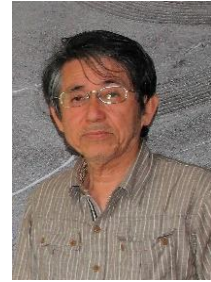


【パラダイムシフト】で読み解く日本庭園 ～象徴庭園から抽象庭園への変遷～



日本庭園文化研究家 中田 勝康 氏

四季の移ろいがはっきりしている日本には、昔から貴族、皇族、武家達が、また地域ごとの神社、仏閣には自然を奏でるための庭園、いわゆる日本庭園があり、今日に至っています。現在ではそれらが一般公開され、誰でも鑑賞し、楽しめるようになりました。中田先生の実家にも大きな日本庭園があり、子供のころから興味を持ちそこに来て手入れをする庭師などと話をしたとの事です。仕事で家を離れざるを得なくなり、実家は市に寄付されました。定年後、本格的に師匠に教えを乞い、研究成果を纏めた書籍を2冊出版しました。日本庭園の歴史を紐解く研究の過程で、最近新しい発見をされ、本セミナーではその成果を含めたお話を頂きます。ご興味・ご関心のある方の参加をお待ちしています。

1. 日時：2024年9月14日(土) 14:00～16:45

2. 会場：品川区総合区民センター(きゅりあん) 4F 第一特別講習室

JR大井町駅東口前 <https://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/access.html>

☆ WEB(ZOOMオンライン)参加も可能です。

3. 講演概要：

日本庭園は水墨画の影響で風景を写生するのではなく、理想化した造形に転換した禅僧の夢窓疎石による滝がテーマのため、必然的に他餘半地に造形され、結果として立体造形が得られた。(例えば西芳寺や天龍寺の龍門瀑) また、足利義満による立体造形は、護岸に依存した。ところが、山口県の常栄寺は平坦部に抽象的立石を意図し、庭園の造形を根幹から転換した。今回はこれらを中心に話を進めます。

(1) 二次元の水墨画を三次元に錯覚させる手法

- 1.1 手前の画像を大きく濃く・背後の楼閣や山並みは淡彩にてぼかし、更に小さく描く描き遠近感を持たす
- 1.2 回遊路は手前から奥にまで描き、奥行きを錯覚させる
- 1.3 中近景に迫り出した岩を入れ、更に張り出した巖の前に滝を描き、立体造形と錯覚させる

(2) 三次元水墨画として、庭園を築造した

- 2.1 庭園では山脈を象徴する造形として立石にした。日本庭園が平坦部で立体造形を獲得したことで、造形が激変した。一方、西芳寺の龍門瀑は斜面に依存した立体造形で、金閣寺は護岸に依存している
- 2.2 石組をする水準を二段階にし(手前側の高さを下げ、大きな石を配石)、三次元石組で遠近法の構図にした
- 2.3 義々たる水墨画は常栄寺で龍門瀑として再現した

4. 講師略歴：

1941年長野県松本市生まれ。重森三玲氏に心酔。重森庭園の文化財指定に熱意。
名勝2庭（東福寺・岸和田城）、登録記念物（高野山など 13庭）

[主な活動実績]

- ① 古庭園の復元：金地院・福田寺・旧徳島城表御殿
- ② 重森三玲の襖絵の仮想復元】小河氏・村上氏・越智氏など
- ③ テーマの発見：【栗林公園（小普陀）・保国寺&徳島城（龍門瀑）】
- ④ 出版：『重森三玲庭園の全貌』『全貌・日本庭園』
- ⑤ 写真提供：サライ「日本の庭」完全ガイド、平凡社
- ⑥ 講演会：京都大学大学院・各地教育委員会約 15 回（名勝・登録の指定時）
- ⑦ NHK 教養講座（オンライン）講演会のテーマ：「日本庭園が芸術であるためには」

5. 参加費：事前に Peatix（WEB チケット）でお求め下さい。

・STF 正会員（WEB 参加）：	500 円
・STF 正会員（会場参加）：	無料（要申込）
・友好団体会員/メンバー（会場/WEB）：	1,000 円
異普奇会、経営支援NPOクラブ、サポート技術士センター、 次世代農業フォーラム、シニアエキスパートフォーラム（SEF）、 テクノメイトコープ（TMC）、BCC-NET、表界研 など	
・学生、当セミナー元講師：（会場/WEB）：	1,000 円
・一般（会場/WEB）：	1,500 円

[Peatix の利用法] <https://stf.or.jp/top/images/file/m517.pdf>

上記 URL を参照し、アカウント取得（登録）の手続きをした上でお申込み下さい。

パスワードを忘れた方 ⇒ <https://stf.or.jp/top/images/file/m631.pdf>

なお、Peatix の利用ができない（or 操作不明な）方はまでご相談下さい。

6. 参加申込の方法

- ▶ 期限内に下記 URL からお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4058107/>

- ▶ 事前申込ない方の当日の会場（飛び込み）参加はできません。
- ▶ 申込締切は、クレジットカード払いの場合、9月 11 日（水）24 時、コンビニ/ATM（ゆうちょ銀行・ペイジーなど）払い〔手数料ご負担願います〕の場合、10 日（火）。
- ▶ 申込確認ができた方へは、順次受付メールを送ります。また ZOOMミーティングの URL、パスコード、手元資料等の案内は前日 13 日（金）までに事務局からメール配信されます。
- ▶ 領収書の必要な方は、<https://stf.or.jp/top/images/music/m380.pdf> をご覧下さい。

※ **講演中の画面撮影や録音などは、ご遠慮願います。**

NPO法人 科学技術者フォーラム（STF）
9月度セミナー担当：山岸 任
E-mail: jiny@sf6.so-net.ne.jp
Mobile: 080-5511-1380
URL : <https://stf.or.jp/>
